

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	02 消防・防災
事務事業名		11	非常備消防車両管理事業
		根拠法令・例規等	消防組織法
		問 担当課(室)	総務課
		合 職・氏名	消防防災係長 大西武志
		先 電 話	64-1809
		このシート作成に要した時間	0.5 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	消防団
目 的 (何のために)	消防団の消防車両を維持、管理することにより、災害時の円滑な団活動を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	消防車両が常に運行できる状況の確保

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	消防車両管理	消防車両の維持管理費	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	6,634	5,666	5,275
	必要人員人件費	千円	0.08人 511	0.05人 308	0.17人 1,153
財源	事業費計	千円	7,145	5,974	6,428
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金債	千円			
	その他( )	千円			
一般財源	千円	7,145	5,974	6,428	
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明	消防車両			
	結果指標量	台数	57	57	57
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	7,145,000	5,974,000	6,428,000
単位当たりコスト	円	125,351	104,807	112,772	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
—	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
消防車両の管理は、常に運行可能な状態とするため、車検受け、修繕を行っており、成果指標は設定し難い。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
平成21年度で20年を経過する車両9台の買い替えを行ったため、現状を維持する。						

総合評価		評価区分 <A~E>
消防車両の維持管理を行う上で、必要最低限の経費である。管理している消防団の協力により、不具合を生じないよう努めている。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標		○				
現体制で維持していく。						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

